

令和5年度 自己評価表

愛媛県立松山東高等学校通信制課程

学校番号 (20)

教育方針		教育基本法に示された教育精神にのっとり、心身共に健全な人間の育成を期する。		重点目標	1 自主自律の精神に富んだ人間を育成する。 2 絆を深め、支えあう温かい心を育成する。	
領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況		次年度の改善方針
I 自学自習 (自主自律の精神に富んだ人間の育成)	生徒の学びを深める報告課題の作成と添削指導の実践	1 生徒が自学自習しやすい設問を心掛け、生徒の学習に対する欲求を満足させる報告課題を作成する。	B	教科書と学習書をよく読めば解ける問題と、思考力・表現力を養う問題とのバランスを考えて作成している教員が多かった。		生徒が興味深く考えられるような問題を出題するなど、生徒の学習意欲を高める工夫をする。
		2 報告課題の誤答に対し、正確な解答と具体的な解説を示す。	B	取組が不十分な報告課題には、具体的な手掛かりを書き添えたり、分かりやすいヒントを示したりして、再提出時の足掛かりとした。		正答を導き出すための、段階を違った解説を記入したり、さらに詳しい解説プリントを作成したりすることにより、自学自習を助けるようにする。
		3 生徒が意欲的に取り組めるよう、添削所見に工夫を凝らし、4行以上の丁寧なコメントを記入する。	B	添削所見で生徒の視野を広げたり、次のステップを提示したりすることにより、生徒が意欲的に取り組めるように工夫した。		定型的な所見にならないよう、生徒個人の取組や学習の理解を継続的に認め、励ませるような所見を増やす。
	生徒の学びを充実させる面接指導の実践	1 ICT機器の活用7割を目指し、生徒に分かりやすい授業を目指す。	B	動画やスライドを活用することにより、効果的な学習展開で分かりやすい授業を行った。		朝礼や授業などで使う機会を増やしたり、研修を行ったりすることにより、更に教員の技能を向上させ、生徒に還元できるようにする。
		2 面接指導におけるルールやマナーを徹底し、生徒が安心して学べる学習環境を維持する。	A	授業初めに、面接指導におけるルールやマナーについて確認し、落ち着いた環境で学習できるようにした。		機会を見て、生徒に声掛けを行ったり、コミュニケーションを図ったりすることにより、ふさわしい態度やマナーの定着を図る。
		3 授業力向上のため、年間2科目以上の相互授業参観(全日も含む)を行う。 A: 4科目以上、B: 3科目、C: 2科目、D: 1科目、E: 参観せず	C	通信制の研究授業を1時間しか行うことができなかった。しかし、全日制の研究授業に参加し、教科指導力向上に努めた教員もいた。		研究授業を年2回は確実に実行できるように体制を整える。また、研究授業以外にも機会を見つけ、教科の枠を超えた授業参観の機会を増やす。
	生徒の学びを支援する学習進度表の作成や受講計画指導の実践	1 学習進度表を個別に作成し、面接指導への出席時間数や報告課題の提出状況を月に1度生徒に知らせる。	A	全ての教員が、学習進度表をきちんと作成することができた。面接指導への出席時間数や報告課題の提出状況を生徒に知らせることができた。		面接指導への出席時間数や報告課題の提出状況を常に確認し、生徒の状況を把握しておく。
		2 年間の受講計画を個別で作成し、卒業までの学習計画を行う。	A	担任全員がクラスの継続受講生徒の受講計画を一緒に考え、確実に作成することができた。		相互点検を注意深く行う。また、担任の意見を参考に、教務課がさらに詳しいマニュアルを作成する。
	適切な勤務時間を遵守するための業務分担の実践	1 ICT活用能力の向上を図り、業務の効率化に取り組む。	A	校務支援システムやグループウェアを効果的に活用し、業務の効率化に取り組むことができた。超過勤務時間の平均は34分であった。		校務支援システムやグループウェアをより効果的に活用できるよう、教職員研修を充実させる。
		2 ワークアズライフの考え方で、働きがいのある職場づくりに努める。	B	各教職員が、ワークアズライフの考え方で、休暇の取りやすい環境づくりに取り組むことができた。		引き続き、教職員にとって、明るく楽しい職場、活気ある職場の雰囲気づくりに努める。

※ 評価は5段階 (A: 十分な成果があった B: かなりの成果があった C: 一応の成果があった D: あまり成果がなかった E: 成果がなかった) とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針	
Ⅱ 友垣連携 (絆を深め、 支えあう温かい心の育成)	生徒相互の絆を深めるための特別活動等の活性化	1 生徒会活動は、全生徒をもって組織することを意識付け、役員が計画・運営しやすいように協力させる。	B	生徒会が中心となり、各種行事の企画や運営を協力して実施することができた。新規の生徒会役員が多く、新たな試みを考えて、自主的に活発な活動ができた。	月1回の定例会で新役員の意見も吸い上げつつ、1人1役で計画や運営に関われる環境づくりを目指す。	
		2 特別活動の内容を充実させ運営を工夫し、学校行事の参加者を増やし満足度を高める。	A	運動会や球技大会などの特別活動への参加が増えた。参加した生徒は、「通信制ならではの行事で参加して良かった」「応援も競技も楽しかった」など好意的な意見が多かった。	生徒が自ら取り組み、自己達成感を感じられる行事や集団生活を通して、人間性を育む場となるような学校行事の企画・運営に努める。	
		3 サークル活動を積極的に奨励し、加入率を高めるとともに、大会等を目指し活動内容の充実を図る。	B	全国大会に体育系3種目で6名、文化系1種目で1名、計7名が出場した。大会参加に向けて意欲的に取り組めた。サークル加入率は13%であった。	サークル活動は、友垣との交流が深まり、通教生活が充実することを、生徒会会報「ふれあい」や友垣通信で発信し、サークル加入率の増加を目指す。	
	学校との絆を深める友垣通信等の充実	1 職員全員によるチェック体制を強化し、より分かりやすく工夫された内容の友垣通信を発信する。	A	教職員全員で2回、必要に応じて3回の確認を行い、内容の誤りをなくすことができた。特別活動の写真や参加生徒の感想を掲載し、学校生活の様子を発信することができた。	内容を精選し、関連ある記事をまとめることで、生徒に必要な事項が伝わり、学校行事の予定や報告を工夫することで、親しみのある記事になるように努める。	
		2 友垣通信と掲示板・ホームページ(1日300件以上の閲覧を目標)の内容を関連付け、総合的で魅力的な情報提供に努める。	B	学校行事、生徒会活動やホームルーム活動等、なるべく当日にホームページを更新するようになった。また、生徒会報「ふれあい」で行事の案内を行った。	生徒がさらにホームページを活用しやすいように、生徒や保護者の意見を参考に、魅力的な情報提供に努める。	
	「来てよかった学校」づくりの実践	1 通教生活を送るうえで、ふさわしい態度やマナーを身に付けられるように関わる。(授業中、学習室の利用、禁煙)	A	通教生活を送るうえで、他の生徒への思いやりを持ち、積極的にマナーやモラルについて自ら考え行動しようとする意識の高さを感じた。	挨拶やマナーの指導など、具体的な生活指導を行い、基本的な生活習慣の確立に努める。今後も、生徒への声かけを全教職員で行い、生徒の意識の向上を図っていく。	
		2 立ち番や校内外の巡視によって安心・安全な環境づくりに努める。	B	校内外の巡視を行い、生徒の様子を把握するとともに、生徒に声かけをして、現状把握に努めることができ、安心して活動できる環境づくりができた。	年度によって入学してくる生徒の実態が異なるので、校内外での生徒の様子をさらに把握し、安心して学校生活を送ることができるように努める。	
		3 進路に関するホームルーム活動の出席率を全校生徒の30%以上にする。 A:30%以上、B:25%~、C:20%~、D:15%~、E:15%未満	A	進路に関するホームルーム活動は、前期に2回、後期に1回行っており、3回の参加人数の合計は、全校生徒552名中170名、31%であった。	毎回、学習段階(年次)にあわせた3つの講座を開設しているが、生徒のニーズにあわせてさらに内容の充実を図る。	
		4 心身ともに健康な体を自己管理し、健康への意識高揚を図るために、入学生の健康診断受診率を90%以上を目指す。 A:90%以上、B:80%~、C:70%~、D:60%~、E:50%未満	A	入学生の健康診断受診率は、92.0%であった。昨年度よりは受診率が若干下がったが、依然として生徒の意識の高揚を感じた。二次検査を必要とする生徒には、適時呼びかけをし、再検査をすることができた。	引き続き、入学生へ健康診断の必要性を説明し、健康維持への意識高揚を図り、多くの生徒が受診するように呼びかける。	
		5 スクールライフアドバイザーを活用し、教育相談の充実等を図り、相談しやすい環境作りに努める。	B	利用する生徒の中には、頻りに複数回利用する生徒も出てきて、相談した効果や利用のしやすさを感じた。相談先もスクールライフアドバイザーだけでなく、保健室を利用することで相談しやすい環境は、整っていると思われる。	より相談しやすい環境づくりのため、相談室の位置を、目立たず、かつ自然に行ける場所に移設できるか検討する。	
	※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。					